

(3) NetCommons ユーザーカンファレンス 2016

① 日時 平成 28 年 8 月 23 日(日) 10:00~18:00

② 場所 一橋講堂 (学術総合センタービル内)

③ 内容

ア 主催者あいさつ (国立情報学研究所 社会共有知研究センター長 新井紀子)

N I I が開発・メンテナンスを行っている情報基盤システム「NetCommons 3」の開発について、国立情報学研究所 社会共有知研究センター長 新井紀子氏から主催者挨拶という形で講演が行われた。IPAの注意喚起に始まる各ソフトウェアのセキュリティの向上やNC 3から実装された内容についての説明があった。

イ これで 2025 年を迎えられる！NetCommons 3

株式会社 NaKaZii の中島正平氏から、NC 3 の概要の説明と今後の予定について紹介があった。さらに、各社より開発したモジュール (ソフトウェア) の説明があった。

「フォトアルバム」「ブログ」「キャビネット」
「登録モジュール」「グループ」「回覧板」
「ToDo」「動画」「コンテンツコメント」「メール」
「カレンダー」「アンケート」



ウ 教科書は読めていますか？ -N I I が開発したリーディングスキルテストの結果から子どもたちが教科書に書かれているようなシンプルな文章をどれくらい正確に読むことができるかを科学的に診断するテスト「リーディングスキルテスト (R S T)」が開発された。

公立の中学校、高等学校を対象に行ったリーディングスキルテストの結果を元に、テスト問題の読解力が低いことが判明した。その検証の方法と解析の結果が発表された。

エ リーディングスキルテスト (R S T) を試してみよう！

NC 3 の小テストモジュールを利用して、リーディングスキルテスト (R S T) を体験した。参加者が各自の端末 (スマートフォンやタブレット端末など) から講座専用のNC 3 にログインし、講師の説明に沿って入力をした。即時に結果を表示することで有用性を紹介していた。

オ リーディングスキルテスト H27 年度実施予備調査の実例と結果報告

埼玉県総合教育センター指導主事、戸田市教育委員会指導主事による報告があった。歴史の問題の正答率は、中学生 75%、高校生 98%であった。理科の問題では、中学生 14%、高校生 33%であった。「読解力」の重要性がわかった。中学校の教育目標を「中学校教科書を読解できること」に設定し、それを確認することが重要という報告があった。

カ ポスターセッション・展示セッション

2階中会議場にて、各団体・企業によるポスターセッションや展示セッションが行われた。NC 3 開発に関わった各会社のブースもあり、役立つ話を聞くことができた。